

会 議 録

会議名 (審議会等名)		さがみはら森林ビジョン審議会		
事務局 (担当課)		森林政策課 電話042-780-1401 (直通)		
開催日時		令和3年7月13日(火) 15時00分～17時15分		
開催場所		緑区合同庁舎 5階 5-2A、2B		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)		
	その他	0人(別紙のとおり)		
	事務局	8人(経済部長、森林政策課長、外6人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 令和2年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について 4 その他 5 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 あいさつ

事務局で開会し、若林経済部長挨拶の後、次第に従い、会長が議事を進行した。

3 議事

審議に先立ち、会長から事務局に会議定足数及び傍聴者の有無について確認がされた。委員の過半数以上の出席と傍聴希望者がいることを報告し、審議会での承認を得た後、傍聴者が入室した。

(1) 令和2年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について

ア 進行管理の方法について

事務局から、進行管理の方法、スケジュール等について、資料1に基づき説明した。

イ 進行管理対象事業について

事務局から進行管理対象事業について、資料2に基づき、対象の40事業について説明した。

ウ 進行管理について

事務局から進行管理シートに基づき、主な取組と実績、自己評価について説明を行った後、質疑応答及び事業に対する審議を行った。なお、事務局による進行管理シートの説明は、「重点事項その1」、「重点事項その2」について行った。

【「重点事項その1」に係る審議会からの意見、質疑応答等】

事務局から進行管理シートに基づき、重点事項のうち毎年度目標を設定して取り組んでいる「重点事項その1」の7事業について、主な取組と実績、自己評価について説明を行った後、質疑応答及び審議が行われた。

〈事業コード1-2-1 さがみはら森林ビジョン普及・啓発事業〉

〈事業コード3-1-1 「(仮称)相模原市市民の森」整備事業〉

(佐藤副会長) 前回、前々回と発言してきたが、事業名の「(仮称)」は削除しないのか。変えられない理由があるのか。

(事務局) 市民の森については、今後の事業等の検討が実質止まってしまっている。現状に対する危機感は持っており、意見のあった名称の変更を含め、検討を進めていく。

(佐藤副会長) コロナや台風被害の影響で自己評価が「D」となっているが、今後、代替案等で挽回は可能と考えているのか。それとも、コロナ禍が収束するまでは、D評価のままになってしまうのか。その場合は、何か挽回策がないとまずいのでは。

(事務局) 市の方針として、既存の事業を縮小、延期し、余力をコロナ対策に充てるということになっており、新規の取り組みは凍結となる。そのため、大きな転換は難しいという状況であるため、今後は目標の見直しも含め、検討していく。

(佐藤副会長) 「さがみはら森林ビジョン普及・啓発事業」について、啓発チラシは、各公共機関に配布しているとのことだが、公民館に行った際に見かけなかった。また、様々なイベントが中止になり、チラシが配れていない状況だが、残数はどのくらいあるのか。

(事務局) 公民館へのチラシ配布に関しては、確実にを行っている。現在、1000部程配り終えており、残数は4000部程となっている。また、来以降、イベントが開催されるようになれば、大量に配布することも可能であるため、効果的などころを選んで配布していく。

(松本会長) コロナによる影響は仕方がない。無理に評価し、「D」としなくてもよいのではないか。

また、「(仮称)相模原市市民の森整備事業」については、石老山の登山道崩落によって、イベントが開催できなかったということだが、被害状況、復旧状況によっては目標の変更や代替地の選定等も考えた方がよいのではないか。

(中島委員) 風水害やコロナは特殊事情のため、通常とは違う視点で事業を見ていく必要があるのではないか。市民の森については、現地でのイベントができないにしても、ネットでの配信等、DXを活用した取り組みによっても事業を進めていくことはできるため、検討が必要だと考える。

また、コロナ対策というのは、医療と経済の両方を考えていく必要がある。コロナ後の社会に対応した森林政策を組んでいくということは、経済の面でコロナ対策に寄与するものになるのではないか。そうしたことも含めて、本審議会で話し合っていきたい。

(松本会長) 「(仮称)相模原市市民の森基本計画」については、本審議会で検討するということがよいのか。その棲み分けを教えてください。

(事務局) 審議会の役割としては、市からの諮問案件に対し、議論してもらうことだと考えている。棲み分けに関しては、次回までに整理する。

(佐藤副会長) 市民の森の新登山道整備に力を貸してもらっている「相模湖地区まちづくり会議」は、今後も市民の森に対して協力してくれる団体なのか。

(事務局) 今後も共に取り組んでいただけないかと考えている。

(淵上委員) 「相模湖地区まちづくり会議」はこれからも石老山に対し、積極的に取り組んでいくと考えている。

(事務局) 今回の事業の背景として、元々、「相模湖地区まちづくり会議」が地域活性化交付金を使って、石老山に遊歩道を整備していた。しかしながら、令和元年東日本台風により遊歩道と登山道が崩落してしまったが、その状況でも登山に多数の方がお越しにいただいていることから、まちづくり会議と連携しての新登山道の整備に至った。

(佐藤副会長) 新登山道の整備は良い案だと思う。現在は、上りと下りが同じルートになっているが、篠原の里に下りていくルートを検討してはどうか。

(小山委員) 篠原側の登山道も、新登山道ができる前から多くの登山客がみられ、観光協会にも石老山に関する問い合わせが多く寄せられていた。

(中村委員) イベントの中止ではなく、オンラインでの開催等を検討してはどうか。今は簡単にオンライン配信等が行える。いかに多くの市民の方々を巻き込んで開催していくことができるかが重要。

また、コロナ禍で子どもを連れていくところが無いということで、都心から来られる方もいる。こうした状況を生かして、様々な取り組みを行ってほしい。

(松本会長) 一つのルートだけではなく、比較的簡単なもの等、多様なルートを用意してはどうか。また、作業道であっても作れば市民の方々が歩いてくれる。多くの方が歩いてくれることで転圧され、道がきれいになる。

オンライン等は雨の日メニューとして用意しておいてもよいのでは。オンラインでの講義や実際の林業の様子を配信する等の取組を検討する必要がある。また、来年度以降は現状に合わせた目標を立てていくことが必要である。

〈事業コード3-3-1 企業の森の整備〉

(松本会長) 石老山は魅力的だが、代替地を考えてもよいのでは。企業を呼び込む際に、石老山は社員の福利厚生場として利用してもらい、CSRとしては他の未整備森林を充てるということもよいのではないかと。

岐阜県では、CSRの森林と未整備森林を並べて、見比べてもらうといった取り組みも行っていった。

(小山委員) 藤野にテレワークセンター森ラボができたが、そこと連携するのもよいのではないか。

〈事業コード4-1-3 地産地消の促進〉

(松本会長) 1件当たり最大40万円の補助が出るというのは、自治体が出しているものの中ではかなり高水準だと思うので、積極的にアピールしていくとよいのではないか。

(淵上委員) 家を建てたいという人は、どこで補助の情報を知ることができるのか。

(事務局) 現在、周知の方法としては、HP、広報さがみはらへの掲載を行っている。初の取り組みであったためモデル的に実施したが、想定より反応が少なかった。現在は、第2弾に向けて周知の方法を検討している。ただ、モデル的に実施しているため、あまりにたくさんの応募があると、全ての方の希望に沿うことができないという面もある。

神奈川県でも地域材の家づくり普及促進事業を行っており、一棟当たり15万円の補助を行っている。

(松本会長) さがみはら津久井産材の家づくり補助金と神奈川県の地域材の家づくり補助金は併用できるのか。

(事務局) 併用はできない。さがみはら津久井産材の家づくり補助金に関しては、今年度の反響を見ながら、来年度以降の予算立てを考えていきたい。

(淵上委員) 神奈川県の地域材の家づくり普及促進事業での補助というのは、施主に対しては、金額ではなく、ポイントの付与となっている。そのポイントで什器等を購入できるような制度である。その対象工務店の中で相模原市内の工務店が増加するとよいのでは。

(松本委員) 市内工務店の利用でさらに上乘せのようなことも検討してはどうか。

(事務局) 工務店としてもPRとなるため、検討する。

(松本会長) ビレッジプラザに津久井産材は何m³使用されたのか。

(事務局) 使用されたのは約8m³。

(松本会長) 戻ってきたもので家等を建てるというよりは、どのシンボルパーツに使うかというところを検討していくのか。

(事務局) レガシーとして引き継げないかというところで検討している。

〈事業コード5-1-1 市有林整備事業〉

〈事業コード5-1-1 私有林整備事業〉

(松本会長) 市有林、私有林の整備に関しては、若干の達成ということで引き

続き頑張ってもらいたい。

(事務局) 神奈川県の水環境保全税を利用した整備事業は県の実行計画に位置づいているというのが前提となるため、それと併せて森林環境譲与税を活用してどのような取り組みを行うか検討している。

(佐藤副会長) 森林の整備には市内の林業経営者が大きく貢献している。しかし、森林経営管理法にある「意欲と能力のある林業経営者」になるための適合基準として神奈川県が定める条件では、素材生産量が足りず、我々は認定をもらうことができない。先般、市内林業経営者5者で相模原市長にお願いをしに行ったが、その後、特に進展がない。林業経営者や土地所有者の目線に立った施策を検討してほしい。

(松本会長) 「意欲と能力のある林業経営者」になるためには、年間何m³の素材生産が必要なのか。

(佐藤副会長) 神奈川県では3年間の年平均600m³が必要。実際のところ神奈川県の林業経営者が採れるのは年300m³程度で、2年でまだ11者程しか認証が取れていない。

【「重点事項その2」に係る審議会からの意見、質疑応答等】

続いて、事務局から進行管理シートに基づき、「重点事項その2」の6事業について、目標と実績、自己評価等について説明を行った後、質疑応答及び審議が行われた。

〈事業コード4-2-3 施業集約化支援事業〉

(佐藤副会長) 「森林整備地域活動支援交付金交付要綱」というのはいつできたのか。

(事務局) 令和2年度に施行した。

(佐藤副会長) これは施業集約をする際の補助金になるのか。

(事務局) そのとおり。

(杉本委員) 山主さんが持っている山は大きいものだけではない。できれば、「どの山が誰のものなのか」という情報提供等も支援してもらえると集約化の助けになる。

〈事業コード2-3-1 津久井産天板交換等事業〉

〈事業コード5-1-1 里地里山等の整備事業〉

(淵上委員) 天板交換事業は5年目になるが、全体のうち約10%程しか終

了していない。広葉樹の入手が難しく、「木もれびの森」で害虫被害によって伐採された木等をもたらしている。

(松本会長) 天板にコナラは使えるのか。

(淵上委員) 神奈川県からも、ナラ枯れの被害木を使えないかと話が来ており、検討している。

(松本会長) ナラ枯れは歳のとった木から発生するため、ナラ枯れが発生する前に若い木を伐るという事業を実施する方が、天板にも活用できてよいのでは。ナラ自体は天板に使えるのか。

(淵上委員) 使用できる。

(松本会長) 未被害木から伐る方が資源を生かせると思うので、来年度から検討してはどうか。

(事務局) 先ほど話のあった「木もれびの森」は所管課が違うため、確認する。

(佐藤副会長) 人工林の搬出補助金は出るが、広葉樹には出ない。そのため、ナラを伐る人がいなくなって大木化して虫がつく。

(松本会長) 山の予算ではなく、住宅地の木を伐るための予算として考えてみることも手ではないか。

〈事業コード 4-1-1 公共建築物等への利用促進〉

(松本会長) 使えるところには使ってもらえるよう引き続き努力してもらいたい。

〈事業コード 4-1-4 木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進〉

(中島委員) 市内の温泉施設にバイオマスボイラーをという話もある。経済的利益だけでなく、SDGsの観点からも考えていく必要がある。

(松本会長) 山梨県のゴルフ場にある温浴施設でチップボイラーを使用しているが、赤字は出ていない。ただ、チップの運搬等に人手を割かなければいけない。

(小山委員) 最近、渋谷のトイレにさがみはら津久井産材を使用したということがあったが、詳細を教えてください。

(淵上委員) 渋谷区にある17の公園の中にクリエイターがデザインしたトイレを設置するという事業で、さがみはら津久井産材を使用したトイレは鍋島松濤公園内に設置されている。建築家の隈研吾氏がデザインし、トイレの内装にさがみはら津久井産材が使用されている。

【「重点事項以外の取組」に係る審議会からの意見、質疑応答等】

時間の関係上、意見がある場合は後日、事務局に連絡をいただくこととした。

(2) その他

(中村委員) 相模原市での自伐型林業について検討している。現在、市民ファンド「ゆめの芽」で、自伐型林業のためのインフラを整えるということで補助金を通った。「NPO法人 自伐型林業推進協会」の代表理事や「NPO法人地球守」の方を招いて、勉強会を開催したい。その際には、いろいろとご協力いただきたい。

4 その他

次回審議会の日程については、11月頃を予定することとした。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見て、現場視察等の実施も検討することとした。

5 閉会

さがみはら森林ビジョン審議会 出席者名簿

(50音順)

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	小山 美佳江	公募委員		出席
2	佐藤 治男	津久井郡森林組合 代表理事組合長	副会長	出席
3	杉本 貴広	有限会社 杉本林業 取締役		出席
4	中島 伸幸	公益社団法人 相模原市観光協会 専務理事		出席
5	中村 行宏	公募委員		出席
6	淵上 美紀子	一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所 代表理事		出席
7	松本 武	国立大学法人 東京農工大学大学院 農学研究院 准教授	会長	出席